

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鋸南町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県安房郡鋸南町

3 地域再生計画の区域

千葉県安房郡鋸南町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、千葉県の南、房総半島の西南に位置し、東京都心から65 k m圏内で東京湾アクアラインを経由し車で約80分という地理的条件にある。

町の面積は45.17km²で、豊かで風光明媚な海岸線を有し、また海岸より山間部にかけては豊かな山系を有し、そのなかでも北部には標高329mの鋸山がある。中央部以東は狭い山間地帯であり、中央部以西は海岸に向かって平坦地となり、最西端に市街地が展開している。

本町の人口は、1960年の15,131人をピークに減少しており、8,022人（2015年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。さらに、住民基本台帳によると2021年4月には7,342人となっており、急速な人口減少が見られる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が4,055人と予測され、2015年比で約50%となる見込みである。

本町の年齢3区分別の人口推移を見ると、平成2年から平成27年にかけて、年少人口は1,890人から646人、生産年齢人口は7,307人から3,880人と減少傾向にあるのに対し、老年人口は2,498人から3,492人と増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいる。なお、高齢化率は43.6%（2015年国勢調査結果）となっている。

本町の自然動態をみると、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続いており、令和2年において125人の自然減となっている。また、合計特殊出生率を見ても、令和元年には0.90と全国平均及び県平均値を下回っている。

本町の社会動態をみると、平成23年に転入者（215人）が転出者（200人）を上回り、社会増を記録したが、その他の年では一貫して転出者が転入者を上回る社会減となっており、令和2年には転入者（148人）が転出者（266人）を下回り、118人の社会減となっている。このような人口の減少の背景には、本町の基幹産業である第一次産業の衰退に伴う雇用機会の減少、高校卒業後の進学や就職による都市部への転出、より生活のしやすい近隣市への転出などによる社会減が原因と考えられる。

また、未婚率は35～39歳の男性が50.6%、35～39歳の女性は30.9%（2015年国勢調査結果）となっており、この年齢層の女性の未婚率は2005年からの10年間で約1.7倍に上昇し、晩婚化・非婚化が進行している。

今後も人口減少が進行すると、学校のクラス数の減少や地域組織の衰退、町税の減収によって道路や公共施設の整備など様々な行政サービスの提供が縮小するなどといったことが懸念される。

こうした課題に対応し、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現に取り組んでいくために「第2期鋸南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本計画期間中、次に掲げる4つの基本目標をもとに事業を展開する。

- ・基本目標1 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する
- ・基本目標2 本町への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する

これらの取組を通じて、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図ることで出生率の改善を図り、自然増につなげていく。また、本町の都心へのアクセスの良さ、豊かな自然などの地理的優位性を活かして移住を促進し、安定した雇用の創出や新しい働き方や暮らし方に対応したまちづくりを通じて地域の活力や魅力を高め、社会減に歯止めをかける。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	事業所数	382事業所	377事業所	基本目標 1
	農業法人の参入数	1社	3社	
	観光入込客数	1,352,810人	1,600,000人	
イ	年間の転出超過人数	116人	80人	基本目標 2
	観光入込客数（再掲）	1,352,810人	1,600,000人	
	空き家バンク登録件数	9件	10件	
ウ	出生数	15人	33人	基本目標 3
	婚姻件数	16件	28件	
エ	鋸南町を住みよいと思う住民の割合	51.8%	58%	基本目標 4
	子どものふさと教育の実施回数	3回	8回	
	自主防災組織率	67.1%	85%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鋸南町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する事業

イ 本町への新しい人の流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する事業

② 事業の内容

ア 稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する事業

農水産業や観光などの基幹産業を中心に、効率化や高付加価値化を図り、若い世代が安心して働ける環境を創出し、多様な働き方が実現できる社会を構築する事業。

【具体的な事業】

- ・農商工連携、6次産業化商品・サービス開発支援事業
- ・テレワークの推進 等

イ 本町への新しい人の流れをつくる事業

若い女性や観光客に焦点を当てた観光・交流の推進を図り、本町の知名度を高め、空き家の活用等も踏まえたU I J ターンの促進を図る。また、ふるさと納税等の活用による関係人口の増加策を講じていく。さらに、自治体・大学・企業等との交流・連携を深化し、魅力度を高める事業。

【具体的な事業】

- ・通年型花観光の推進
- ・アウトドアによる観光・交流人口の増加支援事業 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚・出産・子育てのための環境整備や多面的な支援、子育てと仕事を両立しやすい環境整備を進める。また、交流事業などの充実により、子育て中の親の孤立化を防止する事業。

【具体的な事業】

- ・結婚新生活支援事業
- ・包括的子育て支援体制の構築 等

エ ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する事業

「しごと」と「ひと」が好循環する仕組みを支える「まち」づくりを実践し、町民が安心して満足度の高い暮らしが送れる地域運営を進め、持続可能な魅力ある地域社会の形成を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・ふるさと教育の推進

・キャリア教育の推進 等

※なお、詳細は第2期鋸南町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

40,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月に外部有識者による効果検証を行い翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで